

# 「オール富山・・・みんなが富山の応援団」

富山市青年元気塾 第7期生 富山PRグループ  
片山、金山、小林、滝川、谷田、寺田

## 1 はじめに

「富山にたくさんの人にきてもらうために、どうすれば良いだろうか？」

「富山の良さを多くの人に知ってもらうために必要なものは、何だろうか？」

「私達の住む富山を活気溢れる街にするためには、どうすれば良いだろうか？」

私達「富山PRグループ」が、話し合いを進めていく上での、スタートラインでした。

富山の魅力を見つめ直し、富山がどうあるべきか考え、これからの「まちづくり」に大切と思われる事を、PR（外部への発信）という観点から、私達が提案発表させていただきます。

## 2 テーマ選定に際し、考えたこと

「富山の街にたくさんの人を呼びたい！」

「富山の良さをもっと知ってもらいたい！」

「富山を活気溢れる街にしたい！」

以上3点が、話し合いを進めていく上での、スタートラインであり共通認識でした。

一方で、富山の観光コンテンツ、他都道府県からのイメージとして、現状は以下の通りであるとも考えられました。

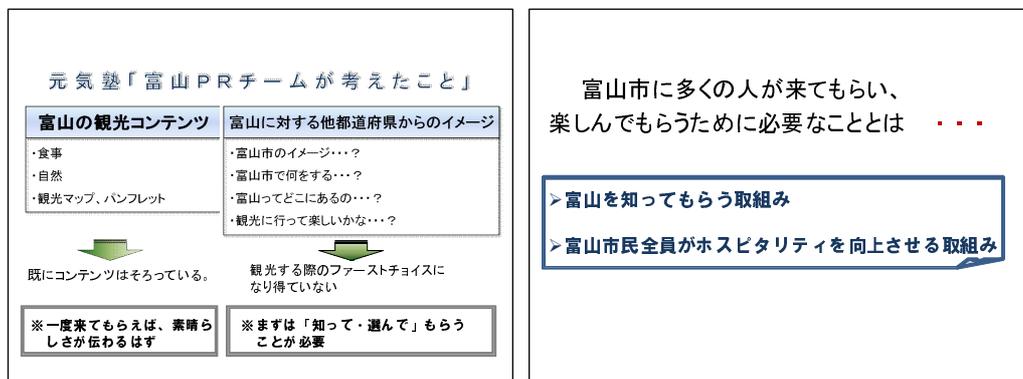
### \* 「観光コンテンツ」

…既にそろっている（来てもらえば素晴らしさが伝わるはず）

#### 「富山に対するイメージ」

…観光する際のファーストチョイスになってない（知って・選んでもらうことが必要）

このため、富山に多くの人に来てもらい、楽しんでもらうために必要な事として、「富山を知ってもらう取り組み」「富山市民全員がホスピタリティ（おもてなしの心）を向上させる取り組み」が必要であると思われます。そこで私達は、「オール富山プロジェクト…みんなが富山の応援団」を提案します。



### 3 「オール富山プロジェクト」とは

私達が考える「オール富山プロジェクト」とは、次の2つの柱から構成されます。

- 1) 市民全員が富山の応援団になる
  - 2) 富山をより理解してもらえるような企画を考える
- 分かりやすく言うと、「富山全体で、富山を発信する」「富山をより理解してもらおう企画を考える」という事です。

#### 『富山の応援団としての活動例とねらい』

- ・ピクトグラムを作成し名刺や製品に活用する。
  - ・トラック・バスにラッピングし富山をPRする。
  - ・各企業・団体に応援計画としてアイデアを出してもらう。
- 様々な企画を通じて、市民全体へ参画意識を高めることによって、発信力の向上とホスピタリティ（おもてなしの心）の醸成へと繋げる。

#### 『富山を理解してもらおう活動例とねらい』

##### 1) 富山の風景を切り取って全国の人に知ってもらう

- ・富山の写真を募集し、コンテストを行う。
- ・優秀作品を広報誌・HPなどに活用する。
- ・オール富山のメンバーがカレンダーや包装紙、ラッピングなどに活用する。
- ・富山の魅力をPRする事で、認知度アップを図るとともに、広く募集することで新たな魅力の発見に繋がる。また、写真を撮るために1度来てもらうため、リピーター層の発掘にも繋がる。

##### 2) 「富山の食材を使ったレシピ募集」…富山の大きなセールスポイント

- ・富山の食材を使ったレシピを募集し、市内飲食店で提供する。(学校給食、大学の学食、コンビニ、アンテナショップ、etc)
- ・募集する「お題」を変更し、参加者のすそ野を広げる。
- ・優秀レシピを活用した、料理対決、親子料理教室、等へ展開させる。
- ・料理を食べてみたい人に、富山に来てもらう事でリピーター層の発掘になり、また、企画を通して富山に興味を持ってもらえる。(潜在的な意識付け)
- ・新たな「富山ブランドの確立」

#### 『富山PRチームが考える取り組み』

- ①オール富山で、全員が富山の応援団になる
  - ・全国へ富山の魅力を発信
  - ・各自が出来る範囲での応援を行う
  - ・観光客に対するホスピタリティの向上につなげる
- ②「オール富山」のコンセプトのもと、富山をより理解してもらえるような企画を考える

#### ①『オール富山』とは

- ・富山市全体を挙げて、富山市をPRする。各人・各企業それぞれが「出来る範囲」で「それぞれのアイデアや特徴」を活かして応援を行う
- e.x.
- ・ピクトグラムの活用(名刺や・製品など)
  - ・トラックやバスにラッピング
  - ・各種イベントへの参画、ボランティア



- ※各企業等に『富山応援計画』としてアイデアを出してもらう。
- ・新聞・HPに「私達は富山の応援団です」として全企業名を公表。
- ・特に面白い応援アイデアをメディアを通じて紹介していく。

⇒企業にとってはイメージの向上につながる  
また、富山を紹介する新企画が生まれる可能性につながる



### 3) 「富山をPRするシナリオ・企画募集」

- ・富山を全国に売り込むシナリオ・企画を、オール富山メンバー達自身で企画・立案し、そして現実に実行する事で、「富山という存在」を、「何か面白い事をしているところ」と発信する事が出来る。

## 4 得られる効果

「オール富山プロジェクト」推進によって得られる効果として、大きく分けて以下の3点が挙げられます。

- 1) 外部への発信…全国へ富山の魅力を発信する事で、富山に興味を持ってもらう。また、「何か面白い事をやっている街」として認識してもらう。そして、「発信が好きな人・得意な人を取り込むこと」で活動の幅を広げていく。
- 2) 参画意識の向上…市民のアイデアを実現する事で、各人の参画意識を高め、ホスピタリティ（おもてなしの心）向上させる。
- 3) 活性化…富山を盛り上げる企画を実現する事で、経済を活性化させ、街に活気が溢れる。

## 5 おわりに

以上が、私達「富山PRグループ」が考えた内容です。

当初「観光グループ」として発足した私達でしたが、紆余曲折、あちこち壁にぶつかりながら、迷子になりながらここまでたどり着いたというのが、率直な感想です。

この提案の中で最も強調したい事は「**まちづくりの主役は、市民一人一人である**」ということです。

「まちづくり、活性化」というと、とかく「行政の仕事」と考えがちですが、人任せにするのではなく、「住民各人が自分に出来る事を出来る範囲で実践していく事、意識していく事」が大切だと思います。

そして、「**その活動は、一過性でなく、継続した活動でなければならぬ**」とも思います。

青年元気塾生第7期生としての活動は、今回の発表でいったん終了となります。この1年間の活動を踏まえ、今後は自分達が主役になり、自分達に出来る範囲で「今後の富山はどうあるべきか」を考え、行動していきたいと思ひます。

以上、「富山PRチーム」からの発表謝辞でした。

「オール富山プロジェクト」の実現により、富山市を活性化させ、魅力ある街にしたいと思ひます。

ご清聴、ありがとうございました。

チーム「富山PR」メンバー：山本、小池、肥後、谷川、寺田

